

報道関係各位

2012年9月7日
公益財団法人 服部報公会

2012年（第82回）服部報公会 「報公賞」が決定

東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授

石川 正俊 氏

「高速ビジョンとその応用展開」

1930年（昭和5年）に設立された公益財団法人服部報公会（代表理事：菅野卓雄）は、活動の一環として、工学に関する優秀な研究成果を挙げた者に対して、服部報公会「報公賞」を贈呈しております。

このたび本年度の公募を行い厳正な審査を経て、2012年の報公賞に、東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 石川正俊氏の研究「高速ビジョンとその応用展開」を選定いたしました。

様々なものを視覚でとらえ、それを認識して、必要な動作をするということは、視覚情報処理に基づく知能システムの基本であり、非常に多くの応用があります。しかしながら、従来、その認識判断の困難さ、とくに高速性の欠如が多くの応用開発の障害になっていました。

石川氏は、この問題を解決する抜本的な手法を提案し、様々な応用を実現しました。この手法は、画素単位での大規模な並列処理とフィードバックを導入するもので、それによって、認識処理を非常に単純な処理に置き換えることが可能となり、画像認識の困難性を克服したものです。

石川氏はそのためにビジョンチップを実現し、それを用いて様々な応用を開発しました。例えば、従来実現不可能であった高速流体計測、書籍をばらばらめくだけでページの歪を補正できる書籍高速電子化システム、ボールを狙った場所に打ち返すバッティングロボット、動く顕微鏡像を擬似的に静止させた観測等で、この分野において世界をリードしております。これらの業績により石川氏は、国内外の様々な論文賞の他、2011年に紫綬褒章を受賞いたしました。

この高速ビジョンは、視覚情報処理の基盤技術であり、今後非常に多くの応用が実現され実用化されるものと期待されております。

なお、「服部報公会 報公賞」の贈呈式は、来る10月9日（火）午後4時より、日本工業倶楽部（千代田区丸の内）で行われる予定で、賞状並びに賞金500万円が贈呈されます。また、「報公賞」と同時に、本年度の「工学研究奨励援助」として、10件の研究に対し総額1,000万円が贈られます。

公益財団法人 **服部報公会**

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目五番十六号 銀座四丁目ビル
TEL (03) 3564-4822 FAX (03) 3561-7505